



sousei akita

曹 青 秋 田



釈尊は誕生されたときに右記の言葉をおっしゃったといわれている。今の世の中を見回すとこの言葉の真意は失われて、この文字面通りに世の中は動いている。我々人間は凡夫の仏であるとおっしゃった道元禪師様は現代世相をどう思っておられるのだろうか。「仏作って魂いれず」このことわざが我々青年僧侶に問いかける意味は大きい。

「天上天下唯我独尊」

曹青秋田 第73号

平成24年8月1日

発行 秋田県曹洞宗青年会
雄勝郡羽後町杉宮字宿
久昌寺内

発行責任者 久米 弘道

編集責任者 杉村 寛人

秋曹青ホームページ

<http://www.sousei-akita.net/>

光陰矢のごとし

秋田県曹洞宗青年会 副会長

九教区 清徳寺 鈴木 泰 賢

光陰矢のごとしと申しますが、秋田に戻ってから約十三年、中身は全くの若輩者のままですが、年齢だけは副会長という役職にふさわしいものになっておりました。

久米会長から副会長を依頼された際も、思わず口をついて出たのは「えっ？俺っすか？」という気品も知性の欠片もない言葉でしたが、思い悩んだあげく引き受けることにしたものの、さてどうしたものか・・・と考え悩む中迎えたのが三月十一日でした。

まだまだ報道も震災一色といった中、

顔合わせもそこそこにスタートを切った新執行部でしたが、様々なボランティア活動を実施。私自身は今までボランティア活動といったものに殆ど縁のない生活を送ってまいりましたので、自分などが被災地で果たして役に立つものか非常に不安でしたが、避難所でお茶をふるまい被災者の方々の笑顔に触れるうちに微力ながらも復興の一助に寄与することが出来たのではないかと感じられました。

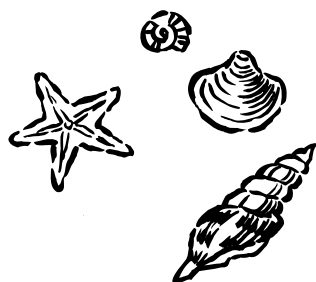
こうした活動の中でも大変に心強く感じたのは新しい力、若い力でした。どうか堅苦しく考えずにボランティア、また

曹青活動にご参加下さい。秋田にはまだまだ有能な人材が数多くいることを信じています。

まだまだ始まったばかりと思っているうちに副会長の任期も光陰矢のごとしで、任期の半分が過ぎてしまいましたが、ボランティア、各種研修、そして会員との懇親を含め、久米会長をサポートしつつ残りの任期を全うする所存です。

最後に被災地の一日も早い復興と犠牲になられた方のご冥福を心より祈念申し上げます。

合掌



この一年を振り返り

秋田県曹洞宗青年会 副会長

二教区 東泉寺 柴 田 和 明

久米会長のもと、昨春からの活動を顧みるに、真っ先に思い浮かぶのは、会員の皆さまと共に東日本大震災の復興復旧支援活動に携わってきたことです。今なお継続中であるこの活動は、会員一人ひとりのご理解とご協力なくしては成し得ません。同じ東北内における想定外の激震災害により、この活動を中心に動いた一年となりました。弁道会や随聞会でも時宜に合ったテーマの講義があり、これらの経験は僧侶とは何か？を再考する機縁となりました。

さて、「秋田県曹洞宗青年会」は任意団

体です。個人的には、自分が出来る・負担にならない範囲で関わっていただいて構わないと思っています。会費を納めて頂くのもひとつの参加のかたちですし、会を超えて個人的に様々な活動をされている方も多数いらっしゃいます。諸先輩方から受け継いだこの秋曹青には、同じ教義のもと集う同世代の会だからこそ出来ることがあります。座学の場合としては各種研修会を催しています。またこの度の復興支援のような活動等は日頃培った会員間の紐帯によるものといえます。ですから顔の見えるお付き合いをしていき

たいというのが本音です。私自身、入会時に会員の方々と殆んど面識がないところからのスタートでしたが、当会を通して多くの法友と出会えたことが宝となっております。会議においては、異論も多く頂き、活発な意見交換を重ね、より良い活動に繋げていけたらと思います。意見が違うからといって、相手を否定することにはなりませんし、新しい考えや発想の気づきを与えてくれる契機となります。同行同修、檀信徒をはじめ、社会への繋がりに発展してゆける場が秋曹青であるよう、私も尽力してゆく所存です。これまで以上にご意見ご協力を賜れば幸いです。

合 掌



平成23年度事業・活動報告

日 時	内 容	場 所	備 考
H23			
4/ 1	平成23年度通常総会	宗務所・禅センター	35名出席
4/19	第1回代議員会	宗務所・禅センター	33名出席
4/25	東北地方常任・定例幹事会	盛岡市ホテルメトロポリタン	6名出席
5/18	全国曹洞宗青年会理事会・評議員会	曹洞宗檀信徒会館	会長出席
5/19	全国曹洞宗青年会定期総会		1名出席
6/20	「曹青秋田」第71号発行		
6/28	第2回代議員会	宗務所・禅センター	16名出席
8/ 2	第25回平成23年度弁道会 「時代による僧侶の変貌」 龍泉寺住職 佐藤俊晃老師	宗務所・禅センター	30名参加
8/24	第3回代議員会	宗務所・禅センター	18名出席
9/29	第4回代議員会	宗務所・禅センター	24名出席
10/20	東北地協常任幹事会	青森市	会長出席
	東北地方集会青森大会	常光寺、ホテル青森	8名参加
10/29	「東日本大震災」 追悼と復興への“祈り”	北秋田市 正法院	33名参加
11/17 ～18	第29回平成23年度随聞会 「現代僧侶の危機管理」 臥牛院住職 藤木隆宣老師	秋田市 歓喜寺	42名参加
11/18	全国曹洞宗青年会評議員会	曹洞宗檀信徒会館	1名出席
H24			
1/30	第5回代議員会	秋田キャッスルホテル	15名出席
1/30	「曹青秋田」第72号発行		
2/10	東北地協常任幹事会	八戸市	会長出席
3/26	第6回代議員会	宗務所・禅センター	16名出席

平成23年度 秋田県曹洞宗青年会収支決算書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

総収入	1,728,514
総支出	1,433,596
収支残高※	294,918

収入の部

単位:円

項 目	23年度予算額	23年度決算額	増▲減	摘 要
1. 会 費	1,060,000	1,154,000	94,000	
1.年会費	635,000	675,000	40,000	5,000 円×135 名
2.賛助会費	425,000	479,000	54,000	145 ケ寺
2. 補助金	500,000	500,000	0	宗務所補助
3. 寄付金	1,000	0	▲1,000	
4. 雑収入	603	117	▲486	受け取り利子
5. 繰越金	74,397	74,397	0	前年度繰越金
合 計	1,636,000	1,728,514	92,514	

支出の部

項 目	23年度予算額	23年度決算額	増▲減	摘 要
1. 事業費	930,000	894,448	▲35,552	
1.研修費	600,000	527,788	▲72,212	弁道会、随聞会、復興祈り等
2.広報	330,000	366,660	36,660	会報、名簿、曹青 HP 運営、写真代
2. 事務費	190,000	116,792	▲73,208	
1.事務記録費	30,000	35,720	5,720	事務用品
2.通信費	100,000	57,730	▲42,270	郵券、振込手数料
3.交際費	50,000	10,000	▲40,000	東北大会祝賀等
4.慶弔費	10,000	13,342	3,342	祝電 6、弔電 1
3. 事務局費	20,000	20,000	0	事務機器使用経費
4. 会議費	40,000	14,336	▲25,664	
1.総会	20,000	0	▲20,000	総会補助
2.役員会	20,000	14,336	▲5,664	代議員会等
5. 負担金	113,500	118,000	4,500	全曹青会費、東北地協連盟会費
6. 補助金	250,000	220,020	▲29,980	出向補助・参加費
7. 積立金	50,000	50,000	0	東北大会準備金
8. 予備費	42,500	0	▲42,500	
合 計	1,636,000	1,433,596	▲202,404	

東北大会準備金

積 立 残 高	2,438,000
平成 23 年度積立額	50,000
合 計	2,488,000

平成23年度 秋田県曹洞宗青年会特別会計 (ボランティア活動支援金) 収支決算書

自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日

総収入	1,116,232
総支出	970,844
収支残高※	145,388

収入の部

単位：円

入金日	名称（敬称略）	納入方法	金額
4月1日	山口県曹洞宗青年会	振替	50,000
4月1日	秋田県 7・17 教区	現金	30,000
4月4日	全国曹洞宗青年会	現金	50,000
4月7日	前秋田県曹洞宗青年会執行部	現金	92,200
4月8日	山形県宝昌院 佐藤崇昌	振替	100,000
4月11日	青宗会 菅原元夫	振替	200,000
4月19日	新潟県曹洞宗青年会	現金	50,000
4月20日	大龍寺	振替	50,000
4月20日	三浦 ヨリ子	振替	10,000
4月21日	神奈川県 古谷透	振替	10,000
4月21日	神奈川県 古谷順子	振替	10,000
4月25日	香積寺	振替	30,000
5月17日	柳川一童	振替	50,000
6月24日	全日本仏教会	振替	100,000
6月24日	全曹青ボランティア基金	振替	100,000
7月21日	11 教区寺族会	現金	14,000
8月2日	祥雲寺 奥山祖道	現金	20,000
10月29日	白澤雪俊	現金	10,000
10月29日	東北地協	現金	30,000
2月16日	明石浩延	現金	10,000
3月10日	全国曹洞宗青年会	現金	100,000
雑収入（貯金利子等）			32
合 計			1,116,232

支出の部

項目	摘要	金額
事業費	追悼と復興への祈り	226,783
活動費	交通費・宿泊費・食費補助	218,394
備品費	コーヒーマーカー・かき氷機・タンク等	145,775
消耗品費	菓子・コーヒー豆・茶葉等	54,660
会議費	会議飲物弁当等	14,580
事務通信費	郵送料・封筒・事務用品等	53,802
寄付金	宮城山口各曹青・花に願いを（福島）・一周忌供物料	230,000
雑費	お土産等	26,850
合 計		970,844

※収支残高は、次年度に繰越します。

平成二十三年年度

秋曹青ボランティア活動報告

◆平成二十三年三月十一日 午後二時四十分
『東日本大震災』発生

○三月二十二～二十四日（会員三名活動）
メーリングリストにて会員に救援物資の収集を呼び掛ける。2トトラック二台分の物資を岩手県陸前高田市、釜石市、大槌町の寺院や避難所に届ける。

○三月三十一日
（会員六名、岩曹青数名、他数名参加）
乳頭温泉『鶴の湯』からお湯を汲み出し、釜石市旧釜石第一中学校避難所、大槌町吉祥寺避難所にて足湯と行茶活動。

○四月十一～十四日
（四日間で会員七名参加）
岩手県山田町龍泉寺を拠点に、避難所での行茶（傾聴）活動。
十一日、織笠小学校、織笠保育園。
十二日、山田高校。
十三日、船越少年の家、船越保育園。
十四日、大沢小学校。

○四月二十六日（会員十二名参加）
山田町龍泉寺を拠点に避難所での行茶（傾聴）活動。
山田高校、織笠小学校、船越青少年の家。

○五月十三日

ビハール秋田との共同企画『チャリティTシャツ』を制作（三千八百枚以上を販売）。

○五月十六～十八日（会員から五名参加）
宮城県石巻市宮殿寺での合同行茶（傾聴）活動。

四教区長谷寺様企画、鳴子温泉『藤島旅館』から
お湯を汲み出しての足湯、マッサージ、行茶の補佐。

○五月三十一日

（会員十名、ビハール秋田十四名、岩曹青二十一名参加）
第一回ボランティアバスを運行、陸前高田市での合同ガレキ撤去（水田からの倒壊物の運び出し）。

○六月二～三日（会員から三名参加）

石巻市宮殿寺での行茶（傾聴）活動。
前々回同様、四教区長谷寺様企画の足湯、マッサージ、行茶の補佐。

○六月十一～十二日（会員三名参加）

大槌町のイベント『復興食堂 吉里吉里 吉祥寺店』に行茶で参加。

○六月十四日

（会員六名、岩曹青二十一名、他数名参加）

釜石市での合同ガレキ撤去（アパート、住宅からの倒壊物の運び出し）。

○六月三十日

（会員六名、ビハール秋田十七名、岩曹青九名参加）

第二回ボランティアバス運行、釜石市での合同行茶（傾聴）活動と支援物資の搬入。『チャリティTシャツ』の収益にて行茶用具（湯のみ、マグカップ、コーヒーメーカー等）を購入。鶴住、栗林の仮設住宅談話室に寄贈、設置。

○七月十一～十二日（二日間で五名参加）

大槌町で合同追悼法要随喜と釜石市での支援物資の搬入。
十一日、江岸寺跡地にて震災から四カ月の追悼法要に随喜。
十二日、釜石市内の仮設住宅談話室に行茶用具の寄贈、設置。

○七月二十一日

（会員七名、ビハール秋田十九名参加）
第三回ボランティアバス運行、釜石市での合同行茶（傾聴）活動と支援物資の搬入。
日向地区仮設住宅談話室に行茶用具の寄贈、設置。

○八月三十一～九月一日

（二日間で会員八名、岩曹青八名、全曹庶務一名参加）
釜石市での合同行茶（傾聴）活動。
三十一日、箱崎地区仮設住宅談話室。
一日、日向地区仮設住宅談話室。

○九月十一日(会員から六名参加)

石巻市宮殿寺にて『万灯会』法要随喜と行茶(傾聴)活動。
四教区長谷寺様企画、震災から六カ月の追悼法要、コンサート、マジックショー、足湯、マッサージ、行茶の補佐。

○十月十三日

(会員九名、ビハラー秋田数名、岩曹青数名、計二十四名参加)

第四回ボランティアバス運行、大槌町でのSVAによる『移動図書館プロジェクト』の補佐と合同行茶(傾聴)活動。
大槌町内六カ所の仮設住宅談話室にて本棚組み立てと図書設置。

○十月二十九日(来場者百数十名)

北秋田市正法院に於いて『東日本大震災追悼と復興への“祈り”』を開催。
鎌沢大仏殿での追悼法要、大槌町吉祥寺高橋英悟師の講話「2011・3・11吉里吉里地区のあの時」、RIA+ノリシゲミニライブ、カフェコーナー。

○十一月二十一日

(会員七名、ビハラー秋田七名、岩曹青六名、SVA六名)

第五回ボランティアバス運行、大槌町での合同行茶(傾聴)活動と表札制作。
大槌町内四カ所の仮設住宅談話室にて表札書き、ハンドマッサージ。
同日『チャリティTシャツ』収益の一部五十万円を山田町の「鈴木善幸記念教育基金」に贈呈。

○十二月十二日

(会員七名、ビハラー秋田十一名参加)

第六回ボランティアバス運行、大槌町、山田町にて『生きる希望と勇気の相談会』、合同行茶(傾聴)活動、表札制作。
午前、大槌町吉祥寺にてNPO法人「蜘蛛の糸」理事長佐藤久男氏の講話と茶話会、表札書きとハンドマッサージ、衣料の配布。
午後、山田町龍泉寺にて午前同様の活動。

平成二十四年

○一月十七・十八日

(二日間で会員七名、ビハラー秋田七名、SVA、自殺対策関係者、総勢二十二人参加)

第七回ボランティアバス運行、大槌町、山田町にて『いのちの総合相談室』、合同行茶(傾聴)活動、表札制作。
十七日午後、大槌町吉祥寺にて前回同様、佐藤久男氏ならびに様々なジャンルの専門家による相談
会の補佐、表札書きとハンドマッサージ、血圧測定、切り絵。
十八日午前、山田町龍泉寺にて前日同様の活動。

○二月五日

『チャリティTシャツ』収益の一部百万円をSVA(チャリティ国際ボランティア会)の『いわてを走る移動図書館プロジェクト』の活用に贈呈。

○二月二十八・二十九日

(会員三名、岩曹青一名、明治学院大ボランティア八名参加)

大槌町吉祥寺、山田町龍泉寺にて、一周忌法要企画『復興の灯』で使用するキャンドル作成と合同行茶活動。

○三月十・十一日

(二日間で会員二十二名参加)

釜石市、大槌町、山田町にて一周忌追悼法要随喜、キャンドル企画『復興の灯』、行茶活動。
十日、大槌町吉祥寺連夜法要随喜、復興の灯。
十一日午前、大槌町江岸寺、吉祥寺、釜石市常楽寺での追悼法要随喜、海岸までの行脚。
十一日午後、山田町龍泉寺での追悼法要随喜、お汁粉サービス、復興の灯。

※この一年、当会の復興支援活動に對しましてのご理解とご協力、誠にありがとうございます。

復興支援活動は、今後も継続する所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

合掌



チャリティTシャツ販売 収支決算中間報告

収入の部

項 目	金 額	備 考
Tシャツ売上	3,724,000	2,000 円 × 1,862 通常料金(S~3Lサイズ)
	61,600	2,200 円 × 28 4Lサイズ
	2,054,400	1,600 円 × 1,284 団体割引(20%オフ)
	308,000	1,400 円 × 220 団体割引(30%オフ)
	445,000	1,000 円 × 445 被災県割引(50%オフ)
小 計	6,593,000	3,839
送料納入分	72,350	通販申込者より
寄付金等	1,007,894	100万円(砂越宗議より)、端数切上分、預金利息
合 計	7,673,244	

※Tシャツデザインの中鉢氏、現地の支援関係者等に贈呈分 計108枚

支出の部

項 目	金 額	備 考
広 報 シ ャ ツ 発 行 経 費 ・ 送 付 金 等	Tシャツ制作代	3,450,000
	第1回 840,000円(@840 × 1,000枚)	
	第2回 450,000円(@900 × 500枚)	
	第3回 460,000円(@900 × 500枚、4Lは200円増)	
送 料	第4~6回 1,700,000円(@850 × 2,000枚)	
	チラシ印刷代	39,150
	インクトナー、用紙代等	
	送料	100,100
小 計	3,589,250	通販申込者用
現 地 へ の 提 供 品 お よ び 支 援 イ ベ ン ト 等 経 費	お茶道具セット (6/30 釜石市内の 仮設住宅談話室へ)	590,036
	湯呑み・カップ・急須・菓子器・お盆	300,000円
	お湯ポット	60,000円
	コーヒーメーカー	115,500円
	食器棚	70,000円
	台所用品	6,736円
	ホワイトボード・マーカー	37,800円
追 悼 法 要 ・ 復 興 支 援 イ ベ ン ト (石巻市 9/11)	追悼法要・復興支援イベント	59,980
	Pコーン・綿あめ・かき氷機器レンタル、容器代	
	ブラボー中谷氏の交通費	30,000円
	表札書きボランティア関連 (大槌町・山田町 11/13、12/12 1/17・18)	87,552
	表札用木材、グルーガン、砥の粉、クリアラッカー ハケ、両面テープ等	
	「生きる勇気と希望の 相談会」(大槌町・山田町 12/12)	140,650
	講師交通費・食事代、会場暖房費、 チラシ・ポスター印刷費	
「いのちの総合相談会」 (大槌町・山田町 1/17・18)	「いのちの総合相談会」	84,700
	講師交通費・食事代、会場暖房費、チラシ印刷費	
	行茶関連消耗品	17,868
	ミルク、砂糖、茶葉、菓子、ココア、ホットレモン、 紙皿、衛生用品等	
	小 計	980,786
現 地 の 支 援 団 体	吉里吉里元気プロジェクトへ	300,000
	大槌町	
	震災遺児支援・鈴木善幸教育基金へ	500,000
	山田町	
「いわてを走る移動図書館プロジェクト」へ	「いわてを走る移動図書館プロジェクト」へ	1,000,000
	シャント国際ボランティア会岩手事務所	
	小 計	1,800,000
ボランティアバス運行経費	ボランティアバス運行経費	287,466
	ガソリン代(第1~5回)	108,966円
	バス借り上げ代(第6・7回)	178,500円
	参加者宿泊費補助	51,320
1/17・18(バス運転手分含む)	小 計	338,786
	雑費	1,470
	振込手数料等	
	合 計	6,710,292

平成24年度 事業計画

日 時	内 容	場 所	備 考
H24・4/2	平成24年度通常総会	宗務所・禅センター	
4/25	東北地協常任・定例幹事会	盛岡市 ホテルルイズ	
5/24・25	全国曹洞宗青年会評議員会・定期総会	曹洞宗檀信徒会館	
7/29～31	白神ぶなっこ教室・夏の学校withふくしまKIDS	藤里町「白神ぶなっこ教室」	
8/2	第26回弁道会	宗務所・禅センター	
11/26・27	第30回随聞会	秋田市 歓喜寺(予定)	
11/13	東北地協常任幹事会・東北地方集会山形大会	山形市 山形テルサ	
1/19	祈りのつどい	秋田市 源正寺	
H25・2月	平成24年度住職学研修		
3月	東北地協常任幹事会		

※尚、災害復興支援ボランティア活動、代議員会の開催、「曹青秋田」の発行は随時行う

平成24年度 秋田県曹洞宗青年会収支予算書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

総収入	1,951,000
総支出	1,951,000
収支残高	0

収入の部

単位:円

項 目	23年度予算額	24年度予算額	増▲減	摘 要
1. 会 費	1,060,000	1,154,000	94,000	
1.年会費	635,000	675,000	40,000	5,000円×135名
2.賛助会費	425,000	479,000	54,000	
2. 補助金	500,000	500,000	0	宗務所補助
3. 寄付金	1,000	1,000	0	
4. 雑収入	603	1,082	479	受け取り利子
5. 繰越金	74,397	294,918	220,521	前年度繰越金
合 計	1,636,000	1,951,000	315,000	

支出の部

項 目	23年度予算額	24年度決算額	増▲減	摘 要
1. 事業費	930,000	1,130,000	200,000	
1.研修費	600,000	800,000	200,000	弁道会、随聞会、住職学等
2.広報	330,000	330,000	0	会報、曹青 HP 運営
2. 事務費	190,000	200,000	▲10,000	
1.事務記録費	30,000	30,000	0	事務用品
2.通信費	100,000	100,000	0	郵券、振り込み手数料、配送料他
3.交際費	50,000	50,000	0	祝賀等
4.慶弔費	10,000	20,000	10,000	祝電、弔電
3. 事務局費	20,000	40,000	20,000	事務機器使用経費
4. 会議費	40,000	40,000	0	
1.総会	20,000	20,000	0	総会補助
2.役員会	20,000	20,000	0	代議員会等
5. 負担金	113,500	120,000	6,500	全曹青会費、東北地協連盟会費
6. 補助金	250,000	250,000	0	出向補助、参加費等
7. 積立金	50,000	100,000	50,000	東北大会準備金
8. 予備費	42,500	71,000	28,500	
合 計	1,636,000	1,951,000	315,000	

一言

ある老僧より青年会員へ

「坊さんは葬儀という場の”衣装”として必要であり、死という危機に對

処するものとして必要なわけではなくなってきた。これは、雑誌『SOGI』編集長であり、葬儀評論家として活躍中の碑文谷創氏の発言であります。『死』は医者のみが見つめ、『死体』は葬儀社が見つめ、『死者』愛する人が見つめ、僧侶はなるべく見ないようにして、お布施を数えるという現状がある限り、今の宗教界に何かを期待する方が無理といえよう。」

これは青木新門氏が自らの体験を公表した『納棺夫日記』の中の一節です。

これらの発言を青年僧侶の皆さんは、どのように受け止めますか？・・・不快感を

持ちますか？無視しますか？どこか納得できる気持ちが生れましたか？それとも怒りを覚えましたか・・・？。

長寿社会文化協会が「お葬式」をテーマに論文を募集したところ五百四十七編の論文が寄せられましたが、その多くは、仏教僧と仏教葬儀に、空々しさや嫌悪感さえ感じるといふ、いわゆる仏教葬儀に対する不満と疑問、とりわけ不信の言葉がつづられており、審査員もウンザリしたとの事。

例えば（福岡県七十一歳の男性）は「博多の海へ散骨」と題して「お釈迦さんは戒名は必要だと言ったんですか？お釈迦さんあんな葬式しましたか？」と問いかけ「今年の春、私は累代の檀那寺の檀家をぬけた。」とその顛末をつづり佳作賞を受けています。優秀賞の（東京都九十歳男性）は「自分の戒名」と題して

「格式ある我が菩提寺は戒名代も相当高いし、遺族となる妻や息子の負担も重からう。どうせなら自分で戒名を作って住職に認めてもらおうとおもいました。」

とその思いを淡々と語っています。

青年僧侶にお願いします。近年マスコミを中心に、葬儀についての論評は多く、その中でとりわけ仏教葬儀への批判が多いのはご承知の通りです。といってガツカリすることはありません。なぜなら仏教葬儀への批判が多いということは日本人の多くは仏教葬儀を認めている証に他ならないからです。多くの人々が訴えていることは唯一つ。「納得のいく葬儀や法事をして下さい。！」ということなのです。どうぞ、葬儀慣れ“しないで下さい。施主家は一度一度異なる葬儀を行わねばならないのですから・・・

そして自信を持って葬儀を行ってください。自信を持って僧衣を身にまとい下さい。

多くの人々が訴えています。

「遺族が納得のいく葬儀や

法事をしてください」

3.11 岩手県各地にて追悼法要

震災からちょうど一年の3月11日、被災地域の各寺院様では合同供養が行われ、曹青会員は、午前中3カ寺に別れて随喜させて頂きました。



●大槌町 江岸寺

津波で本堂が全壊のためプレハブの仮本堂と屋外の供養塔前の二ヶ所で同時に読経。

まず仮本堂で、新たに建立する仏像に参列者全員焼香し、ノミを入れ、外の供養塔前にて読経、犠牲者読み込みをし、焼香して頂いた。350人前後の参列者があり、皆真摯に手を合わせ、厳かに犠牲者の冥福を祈った。

●吉祥寺 キャンドルセレモニー

キャンドルセレモニー

(現地で作成分+秋田からの持込分…約250個)



雪のちらつく中、法華太鼓を先頭に海岸まで3、40分ほど行脚



4月2日 秋曹青 平成24年度総会

平成24年4月2日、曹洞宗秋田県宗務所禅センター二階にて、秋曹青平成24年度総会が開かれました。

平成23年度事業・一般会計報告、災害復興支援部活動報告、特別会計報告、チャリティTシャツ会計収支報告、また平成24年度事業計画、会計予算案が議論され、全て了承されました。



編集後記

何を求められているのか

秋曹青の広報を担当いたしまして早一年半近く経とうとしています。

この一年半を思い起こしますと、地震・津波・台風・大洪水、そして雪国においては大雪と自然の猛威を思い知らされ、国内外共に決してよい情勢とはいえない昨今、我々僧侶とは何なのか、僧侶として一体何が出来るのかを、真に考えさせられた一年半でありました。

「百尺竿頭進一步」、仏道にここで終わりというのではなく青年会の行事、活動を通じ、この暗雲たちこめる世の中が少しでも晴れてくれるよう、自分自身精進してまわりたいと思います。

合掌